

第6回

リハビリテーション勉強会

褥瘡予防と ポジショニング

去る10月15日（水）に開催された第6回リハビリテーション勉強会では、株式会社ケープの渡邊祐樹氏を講師にお招きし、「褥瘡予防とポジショニング」をテーマにご講演いただきました。

今回の勉強会では、病棟のベッドにおけるギャッチアップ・ダウン時に生じる身体の不快感や、体位変換に伴う衣服のしわによる不快感などをスタッフ同士で実際に体験しました。

これに対し、クッションを用いたり、介助グローブを用いて衣類やシーツのしわを伸ばしたりするなど、体圧分散を考慮した正しいポジショニングについて実技を含め詳細に学びました。普段から「患者さんに不快でなく、かつ身体的精神的に適したポジショニング」ができるよう努めることの大切さを再認識する貴重な機会となりました。

今後、このチーム医療の力をさらに強化し、患者さんが心地よく入院生活を送り、リハビリテーションの効果が最大限に高まるよう、今回学んだ視点と技術を活かし、協働した介入に取り組んでいくよう努めてまいります。

リハビリテーション部 課長補佐 西之園 大貴

今回の勉強会は急な開催にも関わらず、リハビリ以外にも医局、看護部も参加していただき、実践ではセラピストと看護師が協力してデモンストレーションをする姿がとても印象的でした。これも普段からリハケア本部として一緒に働いているからこそ！ではないかと思います。

患者さんへのポジショニング、病棟でもチーム一丸、多職種で取り組んでいきましょう！

リハビリテーション部 次長 吉田 久美香

次回の勉強会もお楽しみに！

リハビリ部
インスタグラム⇒

